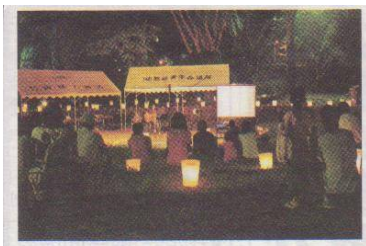
新聞掲載記事一覧



キャンドルナイト 涼しい熊谷づくり（熊谷市）

6月～12月に熊谷市内を中心に18か所で開かれる、ろうそくの灯りで夜のひと時を過ごすイベント「第7回キャンドルナイトinくまがや」（主催・くまがや市民活動ふれあいネットワーク）のオープニングイベントが19日、同市の中央公園で開催された。

今年は「木陰を作って暑い熊谷を涼しく」と、どんぐりの樹を育てる活動に取り組む。協力者の募集や募金活動も行っていく。

当日は、スタッフやボランティアの方々が準備したたくさんのろうそくが園内に灯る中で、同市のPR映画「あついぞ！熊谷」の上映や同市出身のシンガーソングライター森圭一郎さんのコンサートが開かれた。実行委員長の依田悦代さんは「どんな小さなことでも、一人ひとりの心がけで熊谷はもっといい街になります」と植樹活動への市民の協力を呼びかけている。

キャンドルナイト in くまがや

熊谷の地にキャンドルを灯し環境を守る大切さをアピールしてきた『キャンドルナイト in くまがや』が今年で７回目を迎えます。
今回は「暑い熊谷に木を植えて木陰を作ろう！！」"グリーンＣｉｔｙくまがや"の実現へ向けてスケールアップ。
既に６月より市内各地でキャンドルナイトイベントの開催がスタートしていますが、今回はその中から一つをご紹介いたします。

日時：７月２４日（土）13：00～21：00
場所　加藤組事務所（上之）
主催・上原自治会　稲荷木陣場自治会

「上原・稲荷木陣場自治会夏祭り」が恒例のキャンドルナイトイベントに初参加、ペットボトルの灯りづくりに挑戦します。
"他にはないもの"と意気込んでいます。出来映えは当日のお楽しみ！
昼間は子どもみこしが練り歩きます。もちろん飛び入り大歓迎！冷たいスイカやトマトのサービスもあります。
夜は特設ステージで親子カラオケやフォークダンス、かき氷・焼きそば・金魚すくいなど縁日気分が味わえる出店もあります。

お問合せは０４８－５２４－１２３５　お花やさん（下山）まで

クヌギで木陰づくり

熊谷 10月ドングリまき

日本一暑い熊谷市にら、元副代表の依田悦代さん（80）が企画し陰をつくろうと、くまがや市民活動ふれあいネットワーク（長島利夫代表）は10月、園芸用のポットにドングリをまいて育ててもらうイベントを開催する。2年半後には公園で実施する。参加費は無料。造園業者による憩いの場を増やす。親子連れを中心に参加を呼びかけている。

同ネットワークは市内の環境、文化などに関する約20団体が連携してできた組織。もともと、同市大原地区にはクヌギが多く、ドングリは子供たちにも親しみがあることなどから、3～5個を持ち帰り、13年3月にネットワークメンバーが探してきた場所に苗木2、3本ごとに植樹する計画だ。木には育てた人のネームプレートをつけ、将来は植樹マップを作る。10年ほどで成木になるという。

依田さんは「地球温暖化やCO2対策にもなる。子供たちのために住み良い環境づくりに協力してほしい」と話している。問い合わせは依田さん（☎048・524・7953）。【清水隆明】

クヌギを囲み、ドングリまきイベントへの参加を呼びかける依田さん（左上）ら＝熊谷市久下で

植樹をする広葉樹の苗木を持つふれあいネットワークのメンバー

暑い熊谷に木陰を

ドングリから苗木作り

来月9日に催し

熊谷市の市民グループ「くまがや市民活動ふれあいネットワーク」（長島利夫代表）は、ドングリを市民に配って苗木を育ててもらうイベントを10月9日、同市の荒川大麻生公園で実施する。ドングリは9月に各家庭や職場などで集めてもらう。2年後に市内各地に植樹する。【米山士郎】

ふれあいネットワークは、市内の市民活動団体や青年会議所などの参加によるグループ。地球温暖化問題などを考える「キャンドルナイト」のイベントを毎年開催しているが、啓発だけでなく熊谷の自然環境と子どもたちのために動もごそうと「木陰づくりを企画した。

イベントでは、メンバーが市内に集めてきたクヌギやコナラ、カシなど落葉広葉樹のドングリ約4000個を用意。一人に各個から5個のドングリを配り、ポットにまく。各家庭で苗木に育ててもらい、そのまま庭に植えたり、受け入れ先の事業者や公共施設の敷地内に植える予定。

ドングリが発芽したら名前を付けて大切に育ててもらい、苗木を持ち寄って市内各地に植樹しようという取り組みだ。その後、苗木を持ち寄って市内各地に植樹しようという取り組みだ。

イベントには、ふれあいネットに参加する市民活動団体や家族連れなど約150人が参加。1千個のポットに、市内の公園畑に植え替えて大きく育てたい。夢だけど、うちにもコナラなどをまいた。朝から雨模様で予定していた公代表の長島さんは「愛情を園の散策は中止となったが、市内の過園業の皆下良は「込めて育ててあれば、木が、夫さんの指導を受けながら話していた。【米山士郎】

ドングリを利用して成長記録をすることなども考えている。植樹は2013年3月の予定で、植樹場所も募集しているという。

発案者の依田悦代さん（60）は「今の大人たちが始めないと子どもたちが大きくなっても暑い熊谷のまま。木が成長するとともに熊谷が涼しくなっていけばと思う。

イベントは雨の時は9月23日に延期。参加費無料。問い合わせは、依田さん（☎048・524・7953）へ。

「僕の木」大きく育て

熊谷でドングリまき

熊谷市の市民グループ「くまがや市民活動ふれあいネットワーク」（長島利夫代表）は、ドングリを荒川大麻生公園で植えるイベントを行った。参加者の各家庭で苗木に育ててもらい、2年半後に市内各地に植樹をして、暑い熊谷に木陰をつくるのが目的だ。

イベントには、ふれあいネットに参加する市民活動団体や家族連れなど約150人が参加。1千個のポットに、市内の公園畑に植え替えて大きく育てたい。夢だけど、うちにもコナラなどをまいた。朝から雨模様で予定していた公代表の長島さんは「愛情を園の散策は中止となったが、市内の過園業の皆下良は「込めて育ててあれば、木が、夫さんの指導を受けながら話していた。【米山士郎】

熱心に取り組んでいた。

持ち帰って育てた苗木は、2年半後に市内の会社や公共の場所に植え替える予定だが、そのまま庭などで育ててもよい。小学4年生の川島直也君は「うちの庭に植えたい。森がほしい」と意欲満々。

雨の中で傘をさしてドングリをまく参加者ら＝熊谷市の荒川大麻生公園

熊谷の暑い夏を木陰で涼しくしよう

（熊谷市）

熊谷市内各地に木を植えて木陰をつくり、暑い夏を涼しくしようと、どんぐりをまく催しが9日、荒川大麻生公園で行われ、約130人が参加した。

参加者はコナラとクヌギのどんぐりをポットにまき、里親となり自宅で育てる。2年半後、苗木を持ち寄って市内各地に植樹しようという取り組みだ。そのまま自宅に植えても良いが、これから事業所や公共の敷地など植樹場所を探していく予定だという。

当日はあいにくの雨模様だったが、大勢の参加者が協力して無事にどんぐりをまき終えた。その後あたたかい煮ぼとうがふるまわれ、舌鼓を打っていた。

主催したくまがや市民活動ふれあいネットワークの依田悦代さんは「里親になっていただいた方には、木に名前を付けて大切に育ててほしいです。市内中に植えたたくさん木陰をつくり、暑い熊谷の夏を涼しくできたら」と話していた。